

平成23年度上期水道事業の概況

(建設事業の状況)

給水区域内の安定供給を図るため、塩化ビニル管をはじめとする老朽管の布設替工事は、駒木台地先ほかで改良工事7件を実施している。さらに、つくばエクスプレス沿線整備事業4地区などで配水管拡張工事6件を実施している。また、前年度繰越工事8件については、全ての工事が完了している。一方、既設浄水場更新事業(江戸川台)の第2期分として、平成24年度までの継続事業で江戸川台浄水場管理棟建築工事及び電気機械設備更新工事を実施している。

(業務の状況)

当期の給水人口は162,885人で、前年同期に比べ2,938人(1.84パーセント)の増加があった。

給水量は8,637,620立方メートルで、前年同期に比べ121,252立方メートル(1.38パーセント)の減となった。

なお、1日最大給水量は、52,280立方メートルを記録し、前年同期に比べ320立方メートル(0.61パーセント)の減となっている。

(経理の状況)

上期における総収益は、1,702,551,084円(消費税抜き)で、前年同期に比べ47,762,770円の増額となった。総費用は、1,609,523,998円(消費税抜き)で、前年同期に比べ66,326,802円の支出増となった。その結果、総収益から総費用を差し引いた当期の損益は、93,027,086円の純利益となった。

収益の内訳は、営業収益が1,454,873,459円で前年度同期に比べ28,074,005円(1.89パーセント)の減収となった。このほか、営業外収益は247,677,625円で、前年度同期に比べ76,160,291円(44.40パーセント)の増収となった。次に、費用の内訳では、営業費用が1,491,883,663円で前年同期に比べ69,076,625円(4.85パーセント)の増額となった。このほか、営業外費用は113,901,418円で、前年同期に比べ5,925,368円(4.94パーセント)の減額となった。